

教育現場におけるコラーージュの理解と活用 「コラーージュの授業とコラーージュ療法」



- ・ 大阪府立和泉支援学校
- ・ 岩岡真弘

この話題提供は、鳴門生徒指導学会並びに日本コラーージュ療法学会に帰属するものである。

知的障害について

- 「就学指導の手引き」より
(平成14 年6月文部科学省特別支援教育課)
- 知的障害とは、
 - 「発達期に起こり、知的機能の発達に明らかな遅れがあり、適応行動の困難性を伴う状態」
- 「『心の発達』の遅れ」ではなく、「知的な遅れ」

教育目標

- 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領
- 第1章 総則
- 第1節 教育目標
- 「小学部及び中学部を通じ、児童及び生徒の障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し自立を図るために必要な知識、技能、態度及び習慣を養うこと」

ことばがむずかしい(-。-)

- 「学習上での困難、適応行動での困難を改善・克服」を目指す。
- もう少しやさしく言うと、
「勉強や、毎日の生活で、難しくて困ることが減るようにがんばる」
- その背景やそれらの困難さにより引き起こされる感情については触れていない。

アセスメント

- 教員の関心
 - その子どもが
 - 何歳ぐらいか？
 - 何年生ぐらいか？
- 特別支援教育というアセスメント
 - 発達検査
 - 行動観察

発達 of 2つの側面

神経的发展
(認知发展)

心的发展
(対象関係)



fig.5

「コラーージュの授業とコラーージュ療法」

- 橋の中央にて・・・
- 両方とも人間の営みである。
 - なぜ教師という存在が必要か
 - なぜセラピストという存在が必要か
 - なぜ人を介してなのか
- 「教育現場におけるコラーージュ療法の活用」の答えはそこら辺りにあるのかな？。

